

第六回 株式ミニ投資って？配当とかもらえるの？

皆さん、こんにちは。FPの伊藤亮太です。8月も第2週ということもあって、お盆休みを取られている方も多いと思います。しかしながら、証券市場はお盆に関係なく稼働しています。じっくり株式相場を見ることができるこのお休みの機会に、株式投資についても考えてみるのもよいかもしれません。

ということで、今回は「株式ミニ投資」についてお話ししましょう。株式ミニ投資は、通常の売買単位の10分の1の金額で株式投資を行うことができるため、投資をはじめる場合にはうってつけの方法ともいえます。それでは、詳しく見ていきましょう。

■株式ミニ投資のメリット

上場株式の中には、数百万円や数十万円出さなければ購入することができないものがあります。そうした株式を購入するのは一般投資家ではなかなか難しいといえます。このような株式でも手軽に投資ができるように、株式ミニ投資では、通常の株式投資の10分の1の金額で取引が可能となっています。

この株式ミニ投資を活用することで、少額でも複数の株式に投資を行う分散投資が可能となります。また、通常の株式投資と同様に、配当金を受け取ることもできます。

■株式ミニ投資の購入・売却の仕方は決まっている

株式ミニ投資では、通常の株式投資とは異なり、購入や売却の仕方が1パターンしかありません。注文した日の翌営業日（土日祝除く）の寄付き（最初の売買）にて成行でしか購入もしくは売却ができないのです。つまり、値段を指定して購入したり売却する指値注文では注文することができないのです。注文の仕方が限定されている点には注意してください。

■株式ミニ投資のその他のデメリット

株式ミニ投資は、どの証券会社でも取り扱いを行っているわけではありません。また、売買単位が最初から1株単位のもの（例：JR東日本、NTTドコモなど）に関しては、株式ミニ投資の対象とはなりません。つまり、投資対象に関しても限定されているのです。

その他にも、通常の株式投資とは異なり、株主優待の権利を得ることはできません（換金可能な株主優待に関しては、換金され分配されることはあります）。株主総会での議決権行使もできない点にも注意してください。

最近では 20 万円以下で購入できる株式も増えてきているため、株式ミニ投資の魅力も徐々に薄れてきているといったことも指摘されています。しかしながら、日本を代表する超優良銘柄をみると、まだまだ購入金額が高額になるものもあります。

いろいろな銘柄を購入することで分散投資によるリスクを軽減し、長期投資を行いたい方にとっては、株式ミニ投資は心強い投資方法であるといえます。是非一度検討してみたいかがでしょうか。

もちろん、株式ミニ投資に関しても、通常の株式投資と同様、株価の変動によっては元本割れのリスクはあります。投資にはリスクはつきものであることは十分理解したうえで株式ミニ投資に関しても行うようにしてくださいね。